

暑い日が続き、ジュース等を飲む機会が増えますが、

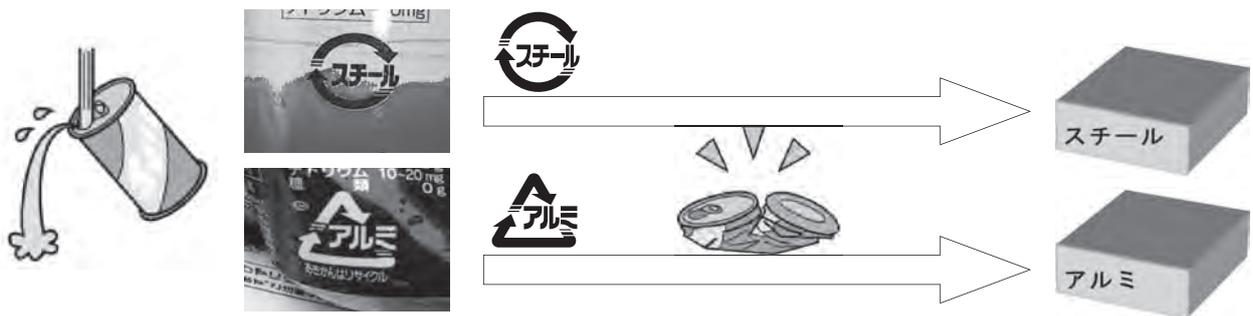
資源分別へのご協力をお願いします!!



ポイントは、①中身を空にしてから、すすぐ。②種類ごとにきちんと分ける。

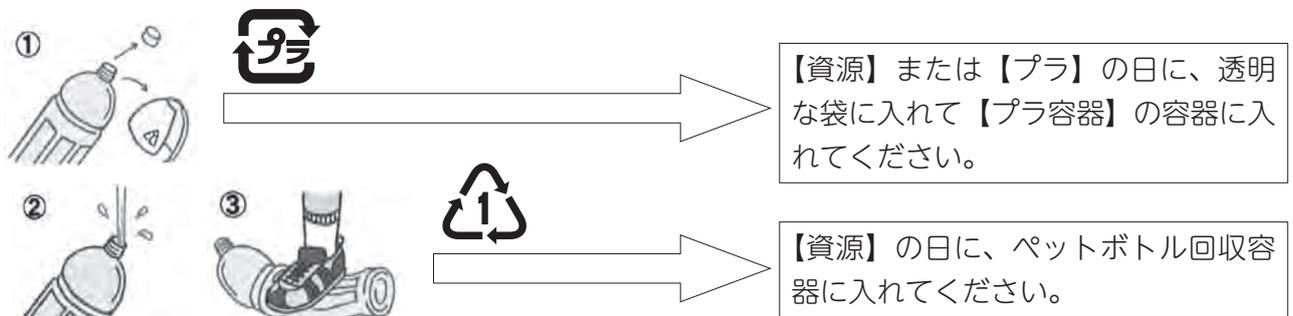
空き缶

空き缶は、缶の下側にあるマークをよく見て、【アルミ】と【スチール】に分別して、指定された容器に出して下さい。その際に、アルミ缶など手でつぶれるものは必ずつぶしてください。



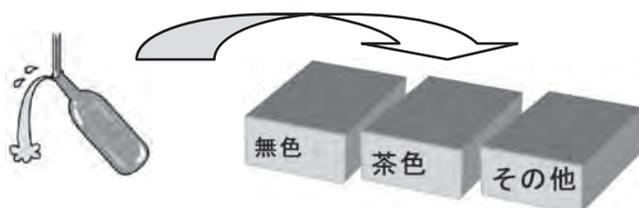
ペットボトル

ペットボトルは、キャップとラベルを外して、**キャップとラベルは、【プラ製容器包装】**へ。本体は、**【ペットボトル】**へときちんと分けて出してください。その際本体は、つぶしてください。



空きびん

空きびんは、びんの色ごとに無色、茶色、その他の3つに分けて、指定されたコンテナに入れてください。



それぞれの収集日については、各地区のごみ収集カレンダーをご確認下さい。

夏まつり等のイベント時にごみ分別を推進するため、容器の貸し出し（エコステーション）を行っています。必要な方は、下記までお問い合わせください。

▼問い合わせ先 戸籍環境班 (9番窓口) TEL 84-1500

「道の駅」オープンキャンペーン

冷やしラーメンでまちをおこし!

冷やしラーメンを食べて記念品をゲットしよう!

現在、会津坂下町と湯川村では、宮古橋の北東側に平成26年開業予定の「人の駅・川の駅・道の駅」の整備を進めています。また併せて情報発信手段の1つとしてスマートフォンや携帯電話などの無線端末を活用した「指さしナビ」の開発も進めており、このIT技術を活用しながら、道の駅を訪れた観光客等を町内へ誘導し、経済の活性化、交流人口の創出を図ろうと考えています。

このたび試験的に会津坂下町・湯川村の飲食店メニューにある「冷やしラーメン」の情報を発信し、多くの方々に町内に呼び込むため、「冷やしラーメン」のお店を案内するスマートフォンアプリ「指さしナビ」を活用した夏季限定のキャンペーンをはじめます。ぜひご参加ください。

キャンペーン応募方法

専用のiPhoneアプリをダウンロードし、各店舗に掲示しているQRコードを読み取ってキャンペーンに応募してください。

5店舗以上集めた方には参加賞、さらに全店舗集めた方には、抽選で記念品を差し上げます。

【応募締切】H24.10.7(日)

冷やしラーメンの物語

町内の食堂での冷やしラーメンは、古くは昭和27年から続く看板メニューです。多くの店舗で冷やしラーメン(冷たいラーメン)を提供しており、夏の定番メニューとして町民から愛されています。会津坂下町民なら、暑い夏の一品の清涼剤として、夏には必ず食べたくなる一品です。

▼問い合わせ先 政策企画班 TEL 84-1504 メール: seisaku@town.aizubange.fukushima.jp
ホームページ: <http://www.town.aizubange.fukushima.jp>

米の全袋検査実施



米全袋検査のデモンストレーション(7月5日JA会津みどり第2号農業倉庫にて)



100ペクレル以下で“0”が表示



平成24年度産米については、放射性セシウムに対し、安全と消費者や需要者の信頼を確保するため、県内全域で米全袋検査を実施することになりました。当町では「会津みどり地域農業再生協議会」が母体となり、方針作成者（JA会津みどり・(有)猪俣徳一商店・(有)カネダイ）3社が各倉庫にて検査器計6台で実施す

る計画です。検査に先立っては、生産者情報が入ったバーコードシールを米生産者に配布し、出荷時に貼り付けます。そして、検査が終了した米袋には、検査結果が印刷されたQRコード入りのシールが貼り付けられ、安全が確認された米として出荷されます。検査結果は、インターネット上で公開され、米を買った人がQRコードで検索して閲覧できる仕組みです。

なお、カントリーエレベータ処理米は貯蔵瓶ごとの抽出検査、フレコンバック出荷米はバックごとの抽出検査を行います。自家販売している方は検査場所に運んでいただき、全袋検査を受けることとなります。生産者皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

▼問い合わせ先

農林振興班

☎ 84・1505

水害

会津坂下町史『近代・現代』
編から（発売中）

清冽な水が流れている。そこには、めだか・フナ・ハヤなどが棲み、時にはサケが群れをなし、遠くでは男達が川底の魚に狙いを定めている。

岸辺で羽を休めているサギ達を横目に母親は子供の水遊びの声を聞きながら洗い物をし、その隣りで父親は魚を料理している。そのような暮らしが、夏のある日、大雨による洪水で一変してしまふ。人も棲み家何人もも流されて生き残った者は、また最初からやり直すか、別の土地に向かう：およそこんな縄文時代の暮らしを想像することができると三千年以上も前の遺跡が会津盆地には多い。地形も今とそれほど変わっていない。水害も多かったろう。

時を今に移せば、昨年七月に襲った集中豪雨による水害が記憶に新しい。稲作を主体とする会津盆地の市町村は、大雪・洪水・旱魃・冷害等の自然災害と人知の戦いの中で発展してきたのである。特に水害におい

ては、会津盆地の河川が合流する会津坂下町地内は、有史以前から洪水常習地帯であった。明治・大正・昭和においてもその勢いは治まらず、昨今では、台風や低気圧に加え、ダムも放流も複合的に洪水を引き起こす原因として危惧されている。

『会津坂下町史第六巻近代・現代資料編（下）』には昭和四年（一九二九）に川西地区を襲った洪水について、一個人の日記が掲載されている。「昭和四年五月二十四日雨（前日も雨）午前四時、寺の前で慌しい太鼓の音がしてきた。そして、消防は太鼓を打ち出した。昨日降った雨は遂に洪水を起したのであろう。余は急いで蓑傘を着けて新開地方面に出る。二、三日来の晴天で、皆田に厩肥を運んでいる。」（大島友江大口集落）。田うないの準備として、二、三日前に田に運んでいた厩肥が突然の洪水で流されるのを恐れ、村総出で安全な場所に移すのである。東から進入した水は近年にない洪水となるも、翌二十六日には治まる。その間、村では炊き出しをして警戒に当たっていた。

この洪水の原因となる鶴沼川は、当町内を北上し、明治初年頃は帆掛け舟も遡上する大河であった。それ

故、当時の茶屋町は、鶴沼水運に関連して茶屋が軒を並べていた。川の歴史は、水害との戦いと水運によるにぎわいの間にあるのだろう。田畑や人畜に被害が及ぼさない限りにおいては、小学校の校歌でも歌われて豊穡の海に近い。江戸時代末期の浮世絵師が引き付けられる光景がそこにはあった。

その一方で、前述のとおり河川の合流地帯においては、予測のつかない水害を警戒しなければならぬ。そのための次善の策としては、一、堤防を築く。

二、水量を減らすための捷水路を設ける。※捷水路とは、流量を分散させる副水路のことである。

三、水路の蛇行や狭隘の修正。などがある。川西地区内の鶴沼川は、大正十二年（一九二三）に蛇行修正に着手し、先の日記の年から一年後の昭和五年（一九三〇）三月に竣工している。

また、昭和八年（一九三三）十一月には、鶴沼川を大川につないで水量を調節し、洪水を防ぐための捷水路工事が始まり、同三十一年（一九五六）に完成する。「宮川捷水路」である。この延長は二八〇〇メートルに達し、今は宮川として大川に注



いでいる。その大川（阿賀川）は、当町の東を北流し、猪苗代湖を水源とする日橋川と合流して、蛇行しながら西に向かい越後平野へと流れ去る。ここには水害の原因となる袋原の蛇行部分と、喜多方市慶徳村真木の「泡の巻」―慶長十六年（一六一一）の会津大地震によって山崎新湖を創り出した―がある。共に大正十年代に開削工事に着手し捷水路を造成して今に至っている。

ところで、袋原の河川改修時には、縄文時代の貴重な土器が出土している。縄文の人々も水害を身近に体験していたに違いないのである。

▼問い合わせ先

町史編さん室

☎ 83・2234



図書室だより Vol.26

中央公民館図書室 TEL 83-3010 (定休日: 第2火曜日)



夏休み真っ最中! 読書で素敵な出会いを!

《夏休みは、読書の絶好期間! 心の成長は読書から育まれます》

第58回青少年読書感想文全国コンクール課題図書が入りました!

《小学校低学年》

- ぼくがきょうりゅうだったとき
- またおいで
- パンケーキをたべるサイナなんていない?
- へいわってどんなこと?

《小学校中学年》

- ココロ屋
- チョコレートと青い空
- ここがわたしのうちです
- カモのきょうだいクリとゴマ

《小学校高学年》

- 心の森
- 走れ! マスワラ
- わたしのひかり
- ピアノはともだち: 奇跡のピアニスト辻井伸行の秘密

《中学校》

- 地をはう風のように
- 怪物はささやく
- 地球の声に耳をすませて: 地震の正体を知り、命を守る

《高等学校》

- オン・ザ・ライン
- ダーウィンと出会った夏

☆ おすすめの新着本 ☆

『実はスゴイ! 大人のラジオ体操』

中村格子/著、秋山エリカ/監修 講談社

夏休みといえば、毎朝のラジオ体操。子どもの頃は何となくやっていた方もきっと多いのでは?

実は、美脚・小尻・肩こり解消など、嬉しい効果がたっぷりの究極のエクササイズだったのです。

オトナのラジオ体操をマスターしましょう!



『極北: Far North』

マーセル・セロー/著、村上春樹/訳 中央公論新社

暑い日が続きます…頭の中だけでも、涼しい旅をしませんか?

文明の残骸、絶望と飢饉一極寒の迷宮に極限の孤独。仏国リナペルシュ賞を受賞した英国の新鋭が描く壮大にして異色の長編小説を、村上春樹の訳で味わってください。



他にも、

- 絵本『ももんちゃんのっしのっし』
とよたかずひこ/さく・え 童心社
- 絵本『ぼく、仮面ライダーになる!』
のぶみ/さく 講談社
- 小説『ジェノサイド』
高野和明/著 角川書店
- 小説『蝸ノ記〔ヒグラシノキ〕』
葉室麟/著 祥伝社

など、たくさん入りました。

この機会にぜひ図書室をご利用ください。



まちの話題

わんぱく相撲全国大会に 小学生5人が出場



7月10日、写真左から金上小5年の佐藤慎太郎くん、坂下小6年の板橋聖一郎くん、若宮小5年の荒井悠真くん、広瀬小4年の仙波倅祐くん、広瀬小4年の江花拓くんがわんぱく相撲全国大会への出場報告に町役場を訪れた。

5人は、6月17日に開催された福島県ブロック大会において上位に入賞し、全国への切符をつかみとった。

佐藤くんは、「勝てるように力を出し切りたい」と、板橋くんは、「昨年のベスト32以上を目指したい」と、荒井くんは、「1回でも勝ちたい」と、仙波くんは、「悔いが残らないよう戦いたい」と、江花くんは、「精一杯力を出して1回でも勝ちたい」と抱負を語った。

板橋くんは、開会式で選手宣誓をする。

ご寄付に感謝します



旧坂下中学校

昭和26年卒業生有志 様

「坂下中横断幕2張」

坂下一中・二中が統合し坂下中学校が誕生し、名称復活の記念として。

固定資産評価審査委員会 委員に古川邦夫さんを選任



固定資産評価審査委員会は、固定資産税の課税価格の不服の申し立てについて審査を行う機関であり、3名の委員で構成されております。

その委員の一人の齋藤衛さん（見明）が6月30日で任期満了となり、後任に古川邦夫さん（福原）が選任されました。

7月2日に新任となる古川さんには選任書が、退任となる齋藤さんには感謝状がそれぞれ町長から手渡されました。

また、同日第1回の委員会が開催され、新委員長に武藤詔一さん（古坂下）、その職務代理者に佐藤勝司さん（塔寺）が選任されました。

祝100歳



7月8日、中村の五十嵐ミツヨさんが百歳の誕生日を迎えました。

自宅で賀寿贈呈式が行われ、記念品や花束などが贈呈されました。

長生きの秘訣は、腹八分目で食べて間食はしない事だそうです。

綺麗な花苗の 植栽を行いました！



6月21日（木）、県道会津坂下停車場線（駅前通り）の東側植栽スペースに、坂下ステーション通りを守ろう会（代表：遠藤里咲さん）により、黄色とオレンジ色のマリーゴールドの花苗900本が植栽されました。守ろう会は、会津農林高校インターアクトクラブ・新栄町自治会・会津坂下ロータリークラブの皆さんで組織しており、当日は約40名が参加し、停車場線の美化に努めました。

この事業は『うつくしまの道・サポート制度に関する合意書』により、守ろう会、会津若松建設事務所、会津坂下町が協定を締結し、実施しているものです。



また、7月1日（日）には、鶴沼緑地公園河川敷において、早朝より多くの皆さんにご参加をいただき、花苗の植栽を行いました。

マリーゴールドやペゴニアなど5種類、約4,000本の花苗の植栽を行いました。美しい花々を見ることがができますので、町民の皆さま、是非一度ご覧ください。

▼問い合わせ先

建設班 TEL 84-1506